



第12図 14型テレビ“シルビア”FY-340 G

段の高感度な設計であるが、特にデザインは従来の感覚から一歩踏み出したスマートさをもつと同時に性能を落さずにコストを低減するため新しい合理的な工夫が施されている。特長としてはシネマミックサウンドシステムのほか、新たにラジオへの雑音防止装置およびスポットカラー装置が施されている。真空管は新形複合管6AW8-Aなどの使用により15球で従来の16球同等の性能を得ている。

現金正価は脚付 60,000 円、規格は次のとおり。

規 格

受信方式	インターキャリヤ方式
受信周波数帯	第1～第12チャンネル切換
使用真空管	15球（ブラウン管とも）
	日立4BQ7-A 5J6 3CB6×2 5U8×2
	6AW8-A 6BN8 4M-P12 12BH7-A×2
	12DQ6-A 12AX4-GTA 1X2-B
使用ブラウン管	日立14RP4A(14in 角形90度 偏向メタルバック自動焦点式)
音声出力	1.5W
使用電源	100V 50/60～(110V 切換タップ付)
消費電力	115W
スピーカー	6.5 in Hi-Fi 形 パーマネント ダイナミックスピーカー
アンテナ入力インピーダンス	300Ω 平衡形
外形寸法	幅 440mm 高さ 383mm(脚付 703mm) 奥行 435mm
重 量	22 kg

ステレオレコードプレーヤー“R-070”発売

日立製作所ではこのほどレコードプレーヤー“R-070”を発売した。

このセットは従来の4スピードプレーヤーからさらに飛



第13図 ステレオレコードプレーヤー“R-070”

躍した高性能セットで、EP、LP、SPの各レコードはもちろん今話題のステレオレコード演奏もできる最新の設計になっているものである。特に本機のモータは永年日立モートルを製作してきたすぐれた設計技術から生れた強力インダクションモータを使用しており、長時間の使用にも絶対回転むらを生じることがなく、またすばらしい再生度を誇る高級ハイファイクリスタルビックアップ付である。そのうえきわめて低廉な価格になっておりどんなラジオにでも簡単に接続して手軽にレコード演奏を楽しむことができる。

規格は次のとおりで価格は現金正価 5,900 円、別にプラスチックカバー 400 円である。

規 格

使用電源	交流 100V 50または60～
消費電力	20VA、12W
ビックアップ	ターンオーバー式 ステレオ クリスタルビックアップ
針 圧	LP、EP、SPとも 7g
モ ー タ	4スピードインダクションモータ (マグネチックレギュレータ付)
ターンテーブル	170mm ゴムカバーリング付
寸 法	幅 330mm、高さ 145mm、 奥行 220mm
重 量	3 kg

2 バンド パ ー ソ ナ ル ラ ジ オ

“エーダ”S-566 発売

このほど日立製作所から新しいデザインのパーソナルタイプ2バンド5球スーパーとして“エーダ”S-566が発売された。

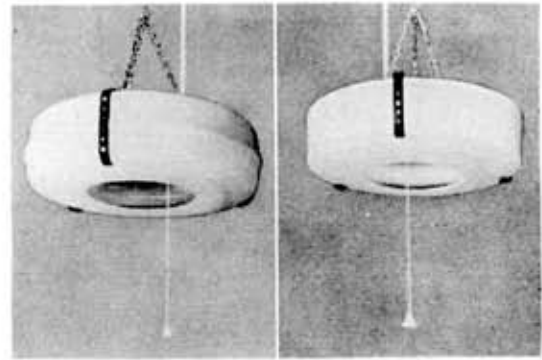
このセットは小形ながらビックアップ接続端子を備えており、イヤホーンの聴取はもちろん5inスピーカー付で、美しい音色が豊富に楽しめる高性能ラジオである。そのうえ2台目、3台目のホームラジオとして最も買いやすい低廉な価格になっている。キャビネットは美しい光沢をもった高級プラスチック製で、その色調にはグレー、クリーム、ローズの3種があり、好みの色調を選ぶことができる。

価格は現金正価 6,500 円で月賦価格は12箇月々賦 7,300 円である。



第14図 2バンドパーソナルラジオ“エーダ” S-566

規 格	
回路方式	2バンド5球スーパーヘテロダイソ方式
受信周波数帯	BCバンド 535~1,605 kc SWバンド 3.8~12 Mc
使用真空管	12BE6 周波数変換管 12BA6 中間周波増幅管 12AV6 検波低周波増幅管兼自動音量調節管 30A5 出力管 35W4 整流管
感度階級	極微電界級 BC 60 μ V/50 mW SW 80 μ V/50 mW
消費電力	25 VA
スピーカー	日立 5 in パーマネントダイナミック形
イヤホンソケット	2個(E-231日立クリスタルイヤホン使用)
アンテナ	長さ 3 m 室内アンテナ線付属
寸法	幅 324 mm 高さ 142 mm 奥行 130 mm
重量	2.2 kg



第15図 リングライト 30型(右) 38型(左)

リングライト 30型, 38型 2機種発売

このほど日立製作所ではリングライト2機種を発売した。

30型は高級型, 38型は普及型とし, 特に38型は日立独特のルミパネルの材料を使用し重量の軽いこと, 透過率の良いこと, デザインのシンプルなこと, いずれも純和室向であることなどを特長としている。

30型(グロースタータ式, プルススイッチ付) 正価 2,000円
保安球付, プラスチック笠
38型(グロースタータ式, プルススイッチ付) 正価 1,900円
保安球付, 特殊プラスチック笠

編集後記

本誌は大正7年4月わが国における業界最初の学術研究誌として創刊されて以来, ひたすら技術振興を念じつつ巻を重ね, 本年をもって創刊40周年を迎えることができました。これを記念して本号を創刊40周年記念号とし, 読者諸賢にお贈りする。

☆

わが国の技術者の手で設計し, 国産の材料で製作される注目の国産1号実験用原子炉の建設は着々と進められており, 原子力平和利用に大きな期待がかけられている。この国産1号実験用原子炉に関する論文と, 原子炉内において核分裂によって放出される中性子の減速, 熱エネルギー化およびスペクトルの理論についての2論文をもって原子力時代下に発行される本記念号の巻頭を飾った。

☆

「水力発電用機器の歩み」以下「鉄鋼製品の歩み」までの8篇は, それぞれの機器および製品が時代の推移とともに進歩発達した技術の成果の歩みの特集したもので, 本記念号にまことにふさわしいものといえよう。

なお, これらの論文の執筆にあたっては, それぞれ多数の関係者の御協力をいただいた。

☆

一家一言には日立製作所倉田社長より玉稿をいただいた。倉田社長は御外遊前の御多忙な時間をさいて本誌のために玉稿を賜ったもので, その御好意はまことに感謝にたえない。

☆

本誌の発刊に貢献された日立製作所馬場顧問より「日立評論四十年回顧」の特別寄稿をいただくことができ, 本記念号に一段と光彩を放ちえたことを読者とともに喜びたい。

日立評論 第40巻 第11号

昭和33年11月20日印刷 昭和33年11月25日発行

(毎月1回25日発行)

< 禁 無 断 転 載 >

定価 1部 100円 (送料 12円)

© 1958 by Hitachi Hyoronsha

編集兼発行人
印刷人
印刷所
発行所

鈴木 万 吉
本 間 博
株式会社 日立印刷所
日立評論社
東京都千代田区丸の内1丁目4番地
電話 千代田 (27) 0111, 0211, 0311
振替口座 東京 71824番

取次店

株式会社 オーム書店
東京都千代田区神田錦町3丁目1番地
振替口座 東京 20018番

広告取次店 広和堂 東京都中央区新富町2丁目16番地 電話 築地 (55) 9028番